

## 2023 年度 第一回 JSSR 指導医制度・専門医制度委員会 議事録

2023 年 6 月 19 日(月) 19:00~20:00

Zoom meeting

参加者

理事長:波呂 浩孝

指導医制度委員会:田中 信弘、相澤 俊峰、伊藤 康夫、坂井 顕一郎、出村 諭、  
星野 雅俊、宮崎 正志、森本 忠嗣、吉田 剛、渡辺 航太

専門医制度委員会:中村 雅也、藤田 順之、明田 浩司、海渡 貴司、高橋 真治、  
渡辺 雅彦

JSSR 事務局:橋本 顕二

(敬称略)

### 1. 波呂 浩孝理事長から

指導医制度委員会と専門医制度委員会は今後同じ方向で進めていく必要があり、互いの情報を共有しなければならない。

### 2. 渡辺 雅彦委員から

専門医機構からみると、JSSR と NSJ からつくられた、「脊椎脊髄外科領域」は機構認定サブスペ領域の中でも完成度が高い。

### 3. 専門医制度委員会から脊椎脊髄外科専門医の今後のスケジュールと申請要項の説明

・2023 年 4 月からカリキュラムは開始されており、最短で 2025 年 3 月にカリキュラムが修了し、そこから専門医申請を行い、専門医試験に合格すれば、2025 年 10 月頃にはカリキュラムによる機構認定専門医が初めて誕生する。

・指導医から専門医への移行措置は、2024 年に開催される JSSR、NSJ、脊髄障害医学会それぞれで開催される専門医試験で終了とする。

・申請要項については脊椎脊髄外科専門医委員会の HP に掲載している通り。

### 4. 指導医制度委員会から指導医の今後のスケジュールと申請要項の説明

・2023 年に指導医を申請した場合、移行措置最終年となる 2024 年の専門医試験の応募に間に合うように、2023 年 12 月中に理事会の承認が得られるようにする。

・2024 年、2025 年は指導医の募集は行わない。2025 年に指導医を募集しない理由としては、2025 年の専門医取得の時期と指導医応募の時期が重なってしまうということ、また、指導医の立場を考慮すると、専門医が応募するにあたって最低一年ぐらいの期間があったほうが良いことなどがあげられる。

・手術においては、指導医は専門医を指導する立場であるという観点から、専門医に求められる手術症例を指導できるような要項とした。

- ・論文・発表においては、従来の条件よりも厳しく設定した。
- ・指導医更新の申請条件においては、日整会認定脊椎脊髄病医の有無を今後検討する必要があるが、それ以外において従来と変更はない。

#### 5. その他の議論

- ・日整会認定脊椎脊髄病医と JSSR 指導医の関連については今後日整会脊椎脊髄病委員会で検討いただく。
- ・現在、移行措置として行っている E-learning による専門医更新においては、6 月 19 日の時点で 400 名中約 380 名が完了している。→6 月末が期限なので、一度リストを専門医制度委員会で確認し、更新していない会員への対応策を考える。
- ・今後の指導医制度および専門医制度のスケジュールや専門医と指導医の募集要項について HP や NL で会員にアナウンスする必要があり、両委員会で協力して原稿を作成する。